

都立足立工業高校 令和2年度 教科名(情報技術基礎) 年間授業計画

教科:(工業)科目:(情報技術基礎) 対象:(第1学年1組～5組)

使用教科書:情報技術基礎(実教出版)

使用教材: PC

| 指導内容<br>【年間授業計画】<br>標準的な進度の入りの<br>内容          | 科目情報技術基礎の具体的な指導目標<br>【年間授業計画】  | 評価の観点・方法                         | 予定時数 |
|---|--|----------------------------------|------|
| 4月  |  |                                  |      |
| ・授業ガイダンス<br>・産業社会と情報モラル                       | 1) 年間の授業内容や授業のルールについて理解することができる<br>2) 情報化社会で守らなくてはならない事項について理解することができる<br>3) 自分の身のまわりにある問題点について理解することができる                          | 授業態度・ノート提出、各学期の定期考査を総合的に見て評価を行う。 | 2    |
| ・知的財産と著作権<br>・個人情報<br>・インターネット利用上の注意          | 1) 個人のプライバシーや著作権など知的財産の保護や情報の管理、発信する情報への責任について理解することができる<br>2) インターネット利用時の配慮事項について理解することができる                                       | 授業態度・ノート提出、各学期の定期考査を総合的に見て評価を行う。 | 2    |
| ・セキュリティの重要性<br>・組織が行うセキュリティ                   | 1) コンピュータの不正利用に対する対応策について理解することができる<br>2) セキュリティ対策に必要なソフトウェアやその機能について理解することができる  | 授業態度・ノート提出、各学期の定期考査を総合的に見て評価を行う。 | 2    |
| 5月  |  |                                  |      |
| ・インターネットのセキュリティ対策<br>・コンピュータ犯罪に関わる法律          | 1) ファイアウォールなどのセキュリティ対策に必要な事項を理解できる<br>2) コンピュータ犯罪の種類や罰則について理解することができる<br>3) データの保護としてバックアップが必要なことを理解することができる                       | 授業態度・ノート提出、各学期の定期考査を総合的に見て評価を行う。 | 2    |
| 中間考査  | (中間考査による理解・定着度合いの確認)   | 授業態度・ノート提出、各学期の定期考査を総合的に見て評価を行う。 | 1    |
| ・コンピュータ知識<br>・ワードプロセッサ                        | 1) コンピュータの5大装置や構成を理解することができる<br>2) コンピュータの起動やアプリケーションの操作方法の基礎を理解できる  | 授業態度・ノート提出、各学期の定期考査を総合的に見て評価を行う。 | 2    |
| ・答案返却、演習<br>・コンピュータ知識<br>・ハードウェア<br>・ワードプロセッサ | これまでの授業内容を確認し、要点を理解することができる<br>1) コンピュータの構成や周辺装置について名称や役割を理解できる<br>2) ワードプロソフトの基本的な機能を理解することができる                                   | 授業態度・ノート提出、各学期の定期考査を総合的に見て評価を行う。 | 2    |
| 6月  |  |                                  |      |
| ・コンピュータ知識<br>・ワードプロセッサ                        | ※以下の2種類を半期で入れ替えて実施<br>○コンピュータ知識<br>・CPUの役割や性能の違いを理解することができる<br>・記憶装置や媒体の種類や容量、役割を理解することができる<br>・OSやアプリケーションソフトウェアについて機能を理解することができる | 授業態度・ノート提出、各学期の定期考査を総合的に見て評価を行う。 | 2    |
| ・コンピュータ知識<br>・ワードプロセッサ                        | ○コンピュータの基本操作とワードプロセッサの機能<br>・ファイルやフォルダ、データの管理について理解することができる<br>・文書の作成に必要なページ設定やレイアウトの方法を理解することができる                                 | 授業態度・ノート提出、各学期の定期考査を総合的に見て評価を行う。 | 2    |
| ・コンピュータ知識<br>・ワードプロセッサ                        | ・ビジネス文書の作成に必要な機能について理解することができる   | 授業態度・ノート提出、各学期の定期考査を総合的に見て評価を行う。 | 2    |
| 7月  |  |                                  |      |
| 期末考査<br>1学期のまとめ                               | 1学期中に学習した内容を理解することができる<br>(期末考査による理解・定着度合いの確認)   |                                  | 1    |
| ・ワードプロセッサ                                     | ワープロ検定レベルの文書作成に必要な機能を理解することができる  | 授業態度・ノート提出、各学期の定期考査を総合的に見て評価を行う。 | 1    |
| ・ワードプロセッサ                                     | ワープロ検定レベルの文書作成に必要な機能を理解することができる  | 授業態度・ノート提出、各学期の定期考査を総合的に見て評価を行う。 | 1    |
| 赤点対象者の補習                                      | 補習を受講し、1学期の学習内容を理解できる  | 授業態度・ノート提出、各学期の定期考査を総合的に見て評価を行う。 |      |

都立足立工業高校 令和2年度 教科名(情報技術基礎) 年間授業計画

教科:(工業)科目:(情報技術基礎) 対象:(第1学年1組～5組)

使用教科書:情報技術基礎(実教出版)

使用教材: PC

|     | 指導内容<br>【年間授業計画】<br>標準的な進度の方々の<br>内容 | 科目情報技術基礎の具体的な指導目標<br>【年間授業計画】  | 評価の観点・方法                         | 予定時数 |
|-----|--------------------------------------|--|----------------------------------|------|
| 8月  |                                      |  |                                  |      |
|     |                                      |  |                                  |      |
|     |                                      |  |                                  |      |
|     | 赤点対象者の補習                             | 補習を受講し、1学期の学習内容を理解できる  | 授業態度・ノート提出、各学期の定期考査を総合的に見て評価を行う。 |      |
| 9月  | ・情報通信とネットワーク<br>・表計算ソフトウェア           | ※以下の2種類を半期で入れ替えて実施<br><br>○情報通信とコンピュータネットワーク<br><br>・ネットワークの種類や構成する危機について理解できる<br>・wwwのしくみや検索方法について理解できる<br>・電子メールの仕組みや使い方を理解できる<br>・色々なサーバーの役割について理解できる | 授業態度・ノート提出、各学期の定期考査を総合的に見て評価を行う。 | 2    |
|     | ・情報通信とネットワーク<br>・表計算ソフトウェア           |  | 授業態度・ノート提出、各学期の定期考査を総合的に見て評価を行う。 | 2    |
|     | ・情報通信とネットワーク<br>・表計算ソフトウェア           | ○コンピュータの基本操作と表計算ソフトウェアによる資料作成<br><br>・表の作成方法について理解できる<br>・データのコピー方法が理解できる<br>・書式の設定方法について理解できる<br>・罫線の作成方法について理解できる                                      | 授業態度・ノート提出、各学期の定期考査を総合的に見て評価を行う。 | 2    |
|     | ・情報通信とネットワーク<br>・表計算ソフトウェア           |  | 授業態度・ノート提出、各学期の定期考査を総合的に見て評価を行う。 | 2    |
|     | ・情報通信とネットワーク<br>・表計算ソフトウェア           |  | 授業態度・ノート提出、各学期の定期考査を総合的に見て評価を行う。 | 1    |
| 10月 | ・情報通信とネットワーク<br>・表計算ソフトウェア           |  | 授業態度・ノート提出、各学期の定期考査を総合的に見て評価を行う。 | 2    |
|     | ・情報通信とネットワーク<br>・表計算ソフトウェア           |  | 授業態度・ノート提出、各学期の定期考査を総合的に見て評価を行う。 | 2    |
|     | ・ICTを活用した問題解決<br>・表計算ソフトウェアによる資料の作成  | (中間考査による理解・定着度合いの確認)   | 授業態度・ノート提出、各学期の定期考査を総合的に見て評価を行う。 | 1    |
|     | ・ICTを活用した問題解決<br>・表計算ソフトウェアによる資料の作成  | ※以下の2種類を半期で入れ替えて実施<br><br>○ICTを活用した問題解決<br><br>・アルゴリズムについて理解できる<br>・流れ図の3つの基本形を理解できる<br>・プログラムの作成および実行の手順を理解できる<br>・コンピュータ制御のしくみについて理解できる                | 授業態度・ノート提出、各学期の定期考査を総合的に見て評価を行う。 | 2    |
|     | ・ICTを活用した問題解決<br>・表計算ソフトウェアによる資料の作成  |  | 授業態度・ノート提出、各学期の定期考査を総合的に見て評価を行う。 | 1    |
| 11月 | ・ICTを活用した問題解決<br>・表計算ソフトウェアによる資料の作成  | ○表計算ソフトウェアによる資料の作成<br><br>・表計算に必要な関数の使い方を理解できる<br>・グラフの作成方法について理解できる   |                                  | 2    |
|     | ・ICTを活用した問題解決<br>・表計算ソフトウェアによる資料の作成  |  | 授業態度・ノート提出、各学期の定期考査を総合的に見て評価を行う。 | 2    |
|     | ・ICTを活用した問題解決<br>・表計算ソフトウェアによる資料の作成  |  | 授業態度・ノート提出、各学期の定期考査を総合的に見て評価を行う。 | 2    |
|     | ・ICTを活用した問題解決<br>・表計算ソフトウェアによる資料の作成  |  | 授業態度・ノート提出、各学期の定期考査を総合的に見て評価を行う。 | 2    |

都立足立工業高校 令和2年度 教科名(情報技術基礎) 年間授業計画

教科:(工業)科目:(情報技術基礎) 対象:(第1学年1組～5組)

使用教科書:情報技術基礎(実教出版)

使用教材: PC

| 指導内容<br>【年間授業計画】<br>標準的な進度の入りの<br>内容 | 科目情報技術基礎の具体的な指導目標<br>【年間授業計画】   | 評価の観点・方法   | 予定時数                             |   |
|--------------------------------------|---|--|----------------------------------|---|
| 12月                                  | ・ICTを活用した問題解決<br>・表計算ソフトウェアによる資料の作成<br>期末考査・2学期のま<br>期末考査・2学期のま<br>とめ | 2学期中に学習した内容を理解することができる<br>(期末考査による理解・定着度合いの確認)   | 授業態度・ノート提出、各学期の定期考査を総合的に見て評価を行う。 | 1 |
|                                      |   | 2学期中に学習した内容を理解することができる<br>(期末考査による理解・定着度合いの確認)   | 授業態度・ノート提出、各学期の定期考査を総合的に見て評価を行う。 | 1 |
|                                      | ・表計算  | ワープロ検定レベルの表作成に必要な機能を理解することができる   | 授業態度・ノート提出、各学期の定期考査を総合的に見て評価を行う。 | 1 |
|                                      | ・表計算<br>・赤点対象者の補習   | ワープロ検定レベルの表作成に必要な機能を理解することができる<br>補習を受講し、2学期の学習内容を理解できる  | 授業態度・ノート提出、各学期の定期考査を総合的に見て評価を行う。 |   |
| 1月                                   |   |  |                                  |   |
|                                      |   |  |                                  |   |
|                                      | ・プログラミングの基礎   | ○プログラミングの基礎  | 授業態度・ノート提出、各学期の定期考査を総合的に見て評価を行う。 | 2 |
|                                      | ・プログラミングの基礎   | ・プログラム言語の種類について理解できる<br>・プログラムの作成手順について理解できる<br>・プログラムにおけるデータの取り扱いについて理解できる<br>・分岐や繰り返し処理について理解できる | 授業態度・ノート提出、各学期の定期考査を総合的に見て評価を行う。 | 2 |
| 2月                                   | ・プログラミングの基礎   | ○プログラミングの基礎  | 授業態度・ノート提出、各学期の定期考査を総合的に見て評価を行う。 | 2 |
|                                      | ・プログラミングの基礎   | ・プログラム言語の種類について理解できる<br>・プログラムの作成手順について理解できる<br>・プログラムにおけるデータの取り扱いについて理解できる<br>・分岐や繰り返し処理について理解できる | 授業態度・ノート提出、各学期の定期考査を総合的に見て評価を行う。 | 2 |
|                                      | ・プログラミングの基礎   | ○プログラミングの基礎  | 授業態度・ノート提出、各学期の定期考査を総合的に見て評価を行う。 | 2 |
|                                      | ・プログラミングの基礎   | ・プログラム言語の種類について理解できる<br>・プログラムの作成手順について理解できる<br>・プログラムにおけるデータの取り扱いについて理解できる<br>・分岐や繰り返し処理について理解できる | 授業態度・ノート提出、各学期の定期考査を総合的に見て評価を行う。 | 2 |
| 3月                                   |   | 1年間に学習した内容を理解することができる<br>(学年末考査による理解・定着度合いの確認)   |                                  | 2 |
|                                      |   |  |                                  | 2 |
|                                      |   |  |                                  | 2 |
|                                      |   |  |                                  |   |
|                                      |   |  |                                  |   |